

令和4年度第2回千葉市救急業務検討委員会

指令管制に関する専門部会

日時：令和4年12月19日（月）

19時00分～20時00分

場所：千葉市消防局（セーフティーちば）

7階 会議室

次 第

1 開会

2 議事概要報告

「令和4年度第1回千葉市救急業務検討委員会指令管制に関する専門部会」議事概要

3 議題

議題1 口頭指導事後検証の充実に向けた試行運用について

4 報告

報告1 令和4年度口頭指導事後検証の状況について

報告2 口頭指導訓練の状況について

5 その他

令和4年度第3回千葉市救急業務検討委員会指令管制に関する専門部会の開催予定について

6 閉会

令和4年度第2回千葉市救急業務検討委員会

指令管制に関する専門部会

【Web中継により参加】

島田 忠長 部会員

宮崎 晃行 部会員

赤石 江太郎 部会員

松村 洋輔 部会員

立石 順久 部会長



新濱救急課長補佐



鯨島救急課長



古川指令第1班長



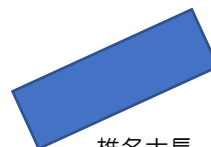
加藤主査 榎本司令補



田端係長



外間司令補



椎名土長

令和4年度第1回千葉市救急業務検討委員会

指令管制に関する専門部会

議 事 概 要

1 日 時 令和4年6月3日（金） 19時00分から20時00分まで

2 場 所 千葉市中央区長洲1丁目2番1号
千葉市消防局（セーフティーちば）7階 作戦室

3 出席者

（1）部会員（5人）

島田 忠長部会員、松村 洋輔部会員、赤石 江太郎部会員
宮崎 晃行部会員、立石 順久部会員

（2）事務局

佐久間指令課長、鮫島救急課長、古川指令第1班長、新濱救急課長補佐
田端高度化推進係長、加藤主査、榎本司令補、外間司令補、椎名士長

4 会議内容

（1）議事概要報告

「令和2年度第4回指令管制に関する専門部会議事概要」議事概要

（2）議題

- ア 議題1 部会長の選出及び職務代理者の指名等について
- イ 議題2 千葉市消防局口頭指導事後検証実施要領の一部改正について
- ウ 議題3 指令管制員の救急に係る教育に関する課題抽出及び検討について

（3）報告

報告 令和3年度口頭指導事後検証の実施結果について

5 議事概要

（1）「令和2年度第4回指令管制に関する専門部会議事概要」議事概要

令和2年度第4回指令管制に関する専門部会の議事概要は、令和4年度第1回指令管制に関する専門部会の会議資料として事務局から各部会員宛てに事前配布されていたことから、議事概要に関する疑義、意見等なく了承された。

（2）議題1 部会長の選出及び職務代理者の指名等について

本部会の部会員の委嘱満了に伴い、新たに部会員の委嘱が行われたことから、委員会設置条例に基づき部会長の選任を行った。立石部会員が推挙され、審議を行った結果、各部会員から異議なく立石部会員が部会員として選任された。また、職務代理者

として島田部会員が指名された。

(3) 議題2 千葉市消防局口頭指導事後検証実施要領の一部改正について

事務局から、千葉市消防局口頭指導事後検証実施要領の一部改正について、説明があった。審議の結果、事務局案である改正内容で承認された。

(4) 議題3 指令管制員の救急に係る教育に関する課題抽出及び検討について

事務局から、令和3年度指令管制員の救急に係る教育及び管制員のアンケート結果について報告並びに教育に関する課題抽出及び検討について、説明があった。審議の結果、総合訓練の実施方法について、実際の119番通報に近い環境で教育訓練を実施することで承認された。

(5) 報告 令和3年度口頭指導事後検証の実施結果について

事務局から、令和3年度口頭指導事後検証の実施結果について、報告があった。

令和 4 年度第 2 回
千葉県救急業務検討委員会
指令管制に関する専門部会

議題

口頭指導事後検証体制の充実に向けた試行運用について

議題要旨

口頭指導事後検証（以下「事後検証」という。）の充実を図るため、検証医療機関以外の部会員（以下「他部会員」という。）が本検証体制に関わるための仕組み作りについて協議するものである。

資料1 部会員意見表

【現状と問題点】

- ・ 現在、事後検証に直接関わることができる医師は検証医療機関（搬送先）の医師に限定されている。
- ・ このため、他部会員が実際の事後検証の流れや実態を把握することができない状況にある。

【例】 検証票を閲覧できない、通報音声を聞くことができない等

- ・ また、複数部会員による事後検証への評価や今後の体制強化に繋げていくためには、他部会員の意見を吸い上げる仕組みが必要である。

【事務局案】

次の取り組みを試行的に運用したい。

なお、本案については部会員が常駐医勤務のときに行うものとする。

- (1) 事後検証票の閲覧と通報音声の聞き取り
 - ・ 終了した事後検証ファイルを医師台へ配置し、全部会員が閲覧可能とする。
 - ・ 通報音声の聞き取りを部会員が求めた場合は、必要な範囲で管制員が音声の再生について対応する。
- (2) 部会員意見の吸い上げ
 - 上記(1)を行った場合は、資料1「部会員意見表」にコメントを記載する。
- (3) 管制員へのフィードバック
 - 上記(2)の内容は各指令班で情報共有する。

部会員意見表

No	記載医師	記載日時	救急事案 番号等	コメント		備考	指令班 フィード バック
				事案に対して	制度に対して		
1	〇〇病院 △△医師	R4.12.19	R4.11.15 11:11 556677	この検証案件は〇〇であり、通報音声では〇〇と言っていたので、〇〇すべきである。	〇〇の事案も検証としてあがってくる仕組みが必要と考える。		済
2							
3							

報告 1

令和 4 年度口頭指導事後検証の状況について

議題要旨

令和 4 年度口頭指導事後検証の状況について報告するものである。

資料 2 令和 4 年度口頭指導事後検証実施状況

口頭指導事後検証件数	<u>19件</u> （12月1日現在）
令和3年度実施件数	<u>13件</u>

○ 進捗状況

一次検証済み 19件

二次検証済み 1件

○ 検証事案の抽出

救急業務実施報告書と指令情報の突合により、検証事案を自動抽出する仕組みを構築した。これにより検証案件を見逃すことなく、年間30件程度の事後検証を実施できる見込みである。

事案の詳細は資料2「令和4年度口頭指導事後検証実施状況」のとおり

令和4年度口頭指導事後検証実施状況

1 実施状況一覧(12月1日現在)

番号	指令日時		救急種別	覚知種別	発生場所	該当班	経験年数	検証対象区分	収容医療機関	通報内容
1	5/23	7:34	急病	119固定	屋内	4班	3年目以上	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	81歳 男性 頭部の痛み 既往:HT 掛:――
2	6/9	4:33	急病	119携帯	屋内	1班	3年目以上	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	38歳女性 意識あり 唸っている 主訴語らず 心疾患＝――
3	6/27	13:34	急病	119固定	屋内	1班	3年目以上	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	81歳 男性 意識あり 胸の苦しさ 濃厚接触なし 既往:HT 脳梗塞 掛:――
4	7/10	1:14	急病	119固定	屋内	4班	2年目	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	84歳 女性 意識あり 息苦しさ コロナ関連なし 既:うつ血性心不全 掛:――
5	7/30	18:05	急病	119固定	屋内	1班	1年目	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	80歳 男性 意識あり 意識消失(数秒) SAT低下(70台) 冷汗なし コロナなし 既:肝臓疾患 掛:――
6	8/13	18:05	一般負傷	加入固定	屋内	3班	3年目以上	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	81歳 男性 意識あり 食事中に喉詰めの模様 発症は通報前 続報⇒意識状態不明 再度続報依頼
7	8/14	5:19	急病	119携帯	屋外	3班	3年目以上	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	人倒れ 30代 男性 意識あり 口腔内から出血 他詳細不明
8	8/27	17:23	急病	119固定	屋内	1班	2年目	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	87歳 男性 意識あり コロナ昨日解除 全身の脱力 会話困難 内科的疾患なし
9	9/7	9:04	急病	119携帯	屋内	1班	1年目	通報時心肺停止として認識できなかった事例	千葉大学医学部附属病院	97歳 女性 意識あり 呼吸苦 SAT低下 コロナなし 既:調べておく
10	9/5	0:26	急病	119携帯	屋外	1班	3年目以上	指令管制員が要検証とした事例	千葉大学医学部附属病院	80代 男性 意識なし 呼吸あり マスクなし 気道確保指示
11	9/18	3:07	急病	119携帯	屋内	2班	2年目	指令管制員が要検証とした事例	千葉大学医学部附属病院	40代 女性 意識あり 吐血(断続的:量不明 赤黒い) 冷汗なし コロナなし 既:なし
12	9/18	20:09	急病	119携帯	屋内	3班	1年目	指令管制員が要検証とした事例	千葉大学医学部附属病院	85歳 女性 意識あるも反応鈍い 発作の模様 胸痛 2分前ニトロ舌下 既:心疾患・大動脈解離⇒――
13	10/5	14:19	急病	119携帯	屋内	1班	2年目	指令管制員が要検証とした事例	千葉県救急医療センター	67歳 女性 意識あり コロナ情報なし 呼吸苦 既:脊柱管狭窄症 かかりつけ:――
14	10/6	10:49	交通	119携帯	屋外	2班	1年目	指令管制員が要検証とした事例	千葉県救急医療センター	自転車の自己転倒 60代男性 意識・呼吸あり 外傷不明 現場警察官対応中 誘導指示
15	10/6	13:46	急病	119携帯	屋内	2班	3年目以上	指令管制員が要検証とした事例	千葉大学医学部附属病院	79歳 男性 意識あり 2日前から腹痛 コロナなし 既往なし
16	10/20	18:09	急病	119固定	屋内	3班	1年目	指令管制員が要検証とした事例	千葉大学医学部附属病院	81歳 男性 意識あり コロナ関係なし 胸の違和感(数日前から) 本日病院受信 既往:心疾患 掛:――
17	11/11	6:48	急病	119固定	屋内	4班	1年目	指令管制員が要検証とした事例	千葉県救急医療センター	81歳 男性 意識あり 卒倒 会話可能 動けない 既:肺癌 告知済み 掛:―― 指令後 意識なし
18	11/25	11:56	急病	119固定	屋外	4班	3年目以上	指令管制員が要検証とした事例	千葉県救急医療センター	74歳 男性 発熱症状 コロナ関係なし 抗原検査(－) 意識なし 呼吸あり
19	11/30	13:51	急病	119携帯	屋外	1班	3年目以上	搬送先医療機関の医師が要検証とした事例	千葉県救急医療センター	80代 女性 意識なし 呼吸あり 連れあり 体操中に意識消失

2 各項目集計

(1)月別		(2)救急種別		(3)覚知種別		(4)発生場所		(5)該当班		(6)管制員経験年数		(7)検証対象区分		(8)搬送先医療機関	
4月	0件	急病	17件	119固定	8件	屋内	14件	指令第1班	8件	1年目	6件	通報時心停止と認識できなかった	9件	千葉大学医学部付属病院	14件
5月	1件	一般負傷	1件	119携帯	10件	屋外	5件	指令第2班	3件	2年目	4件	指令管制員が要検証とした事例	9件	千葉県救急医療センター	5件
6月	2件	交通事故	1件	加入固定	1件			指令第3班	4件	3年目以上	9件	搬送先の医師が要検証とした事例	1件		
7月	2件							指令第4班	4件						
8月	3件														
9月	4件														
10月	4件														
11月	3件														

報告 2

令和 4 年度口頭指導訓練実施状況について

議題要旨

令和 4 年度口頭指導訓練の実施状況について報告するものである。

資料 3 教育カリキュラム

資料 4 行程表

資料 5 一般市民を対象とした指令管制員による口頭指導訓練

資料 6 一般市民を対象とした指令管制員による口頭指導訓練結果

- 期間
令和4年11月11日（金）から令和5年3月9日（木）
- 訓練内容
資料3「教育カリキュラム」のとおり
- 訓練時間及び時間割
実施期間中の夜勤日 16時00分から17時00分を実施。
「総合教育」のみ 14時00分から17時00分を実施。
日程については資料4「行程表」のとおり

○ 今年度の新たな取り組み

一般市民を対象とした指令管制員による口頭指導訓練を実施した。

1 実施日時

(1) 令和4年 7月10日(土) 9時00分から10時00分

(2) 令和4年12月10日(土) 9時00分から10時00分

2 訓練内容

資料5 「一般市民を対象とした指令管制員による口頭指導訓練」
のとおり

教育カリキュラム

	教育項目	科目	内容	行程表	指導者	教育時間 (計15時間55分)
座学教育	知識確認	プレテスト	・事前知識の確認、到達目標の認識		班長	60分
		ポストテスト	・学習効果の確認		班長	90分 (45分×2)
	医学基礎教育	解剖・生理 心停止に至る病態	・生命維持のメカニズム ・心筋梗塞、脳血管障害、呼吸器疾患、高リスク受傷機転 ・アレルギー、窒息(死戦期呼吸、心停止直後のけいれん)	1	救急救命士	45分
		心肺蘇生法・AED その他口頭指導対象病態	・胸骨圧迫の重要性、人工呼吸の定義など ・電気ショック適応・不適応の心電図 ・気道異物、出血、熱傷、指趾切断など	2	救急救命士	45分
		常駐医師による講義	・口頭指導の重要性	3	常駐医師	45分
	救急指令管制実務教育	救急業務における 指令管制員の役割 口頭指導要領	・通報から救急隊到着までの対応の重要性「救命の連鎖」 ・口頭指導の定義、口頭指導員、口頭指導の指導項目 他	4	救急救命士	45分
		緊急度・重症度識別 地域特性	・ドクターカー・ドクターヘリの要請、PA連携の早期要請のための識別 ・ドクターヘリ・消防ヘリ及びラピッドカーの要請要領 ・構成消防本部別出動種別の差異	5	副班長 救急救命士	45分
		緊急度・重症度識別	・出動種別判断のための識別 ・心肺停止の早期識別(病態照合グループワーク)	6～10	副班長 救急救命士	200分 (40分×5)
		口頭指導要領	・心肺蘇生法基礎訓練、不可視下での心肺蘇生法指導 ・口頭指導と連動した指令管制要領 ・事後検証事案の検討	11～15	副班長 救急救命士	200分 (40分×5)
		総合教育	・ブラインド方式によるシミュレーション訓練		副班長 救急救命士	180分
実技教育						

行程表

	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1班										プレテスト 60分		
2班											プレテスト 60分	
3班												プレテスト 60分
4班												

	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
1班		無線運用訓練				1 45分				2 45分		
2班			無線運用訓練				1 45分				2 45分	
3班				無線運用訓練				1 45分				2 45分
4班	無線運用訓練				プレテスト 60分				1 45分			

	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
1班		4 45分				3 医師講義 45分				5 45分		
2班			4 45分				3 医師講義 45分				5 45分	
3班				4 45分				5 45分				6 40分
4班	2 45分				4 45分				5 45分			

	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1班		6 40分				7 40分				8 40分		
2班			6 40分				7 40分				8 40分	
3班				7 40分				3 医師講義 45分				8 40分
4班	3 医師講義 45分				6 40分				7 40分			

	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1班		9 40分				10 40分						
2班			9 40分				10 40分					
3班				9 40分				10 40分				
4班	8 40分				9 40分				10 40分			

	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1班						11 40分						
2班							11 40分					
3班				11 40分								
4班					11 40分							

	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1班												
2班												
3班												
4班												

	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1班												
2班												
3班												
4班												

	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
1班		12 40分				13 40分				14 40分		
2班			12 40分				13 40分				14 40分	
3班				12 40分				13 40分				14 40分
4班	12 40分				13 40分				14 40分			

	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	3/1
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
1班		15 40分				ポストテスト 45分				ポストテスト 45分		
2班			15 40分				ポストテスト 45分				総合教育 180分	
3班				総合教育 180分				15 40分				ポストテスト 45分
4班	15 40分				ポストテスト 45分				ポストテスト 45分			

	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1班		総合教育 180分				予備 45分						
2班			ポストテスト 45分				予備 45分					
3班				ポストテスト 45分				予備 45分				
4班	総合教育 180分				予備 45分							

	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1班												
2班												
3班												
4班												

一般市民を対象とした指令管制員による口頭指導訓練

1 実施日時

- (1) 令和4年 7月10日(土) 9時00分から10時00分
- (2) 令和4年12月10日(土) 9時00分から10時00分

2 実施場所

指令センター指令台及び作戦室

3 訓練対象

- (1) こども救命講習会に参加する児童(4～6年生) 2人
(こども救命講習会の受講者のうち本訓練の協力について同意が得られた児童2人)
- (2) ちば消防共同指令センター指令管制員 2名

4 訓練方法

- (1) 救命講習前の受講者に、口頭指導なしで胸骨圧迫を実施してもらう
ルールダルの高度シミュレーターで胸骨圧迫の質（深さ、リズム、
リコイル等）を数値化する。
- (2) 口頭指導ありで A E D 取扱いまで一連の心肺蘇生を実施し記録撮影
する。
胸骨圧迫部分は質を数値化（口頭指導なしとの比較）
- (3) 救命講習の最後に効果測定として高度シミュレーターで胸骨圧迫を
実施させ質を数値化する。

5 口頭指導教育への反映

(1) 受講者アンケートのフィードバック

口頭指導前後で受講者にアンケートを実施し、管制員へフィードバックする。

(2) 胸骨圧迫の質の検証

救命講習前口頭指導なし、救命講習前口頭指導あり、救命講習後口頭指導なし、それぞれの胸骨圧迫の質を数値化し検証する。

(3) 記録撮影の検証

撮影した動画を検証する。

6 訓練結果

資料6「一般市民を対象とした指令管制員による口頭指導訓練結果」
のとおり

一般市民を対象とした指令管制員による口頭指導訓練結果

1 アンケート結果

実施日	7月10日		12月10日	
学年	5年生	5年生	5年生	5年生
性別	男	女	男	女
救命講習を受講したことはありますか？	なし	なし	なし	あり
いつごろ				8月頃
口頭指導前				
今、目の前に人が倒れていたら、 応急処置できると思いますか？	わからない	わからない	わからない	わからない
どんな手当ならできますか？				
応急手当を知らなくても、 電話でのサポートがあればできそうですか？	少しできそう	少しできそう	少しできそう	少しできそう
口頭指導後				
口頭指導により応急手当はできましたか？	大体できた	できた	できた	できた
口頭指導があればだれでも応急手当が できると思いますか？	誰でもできる	誰でもできる	ほとんどの人が できる	ほとんどの人が できる
電話を耳に当てての音声は？	よく聞こえた	少し聞こえづらい	よく聞こえた	よく聞こえた
スピーカーに切り替えての音声？	よく聞こえた	聞こえた	よく聞こえた	よく聞こえた
わかりにくいところありましたか？			なし	なし
管制員の話し方は？	とてもよかった	とてもよかった	とてもよかった	とてもよかった
どのあたりが？	丁寧にどのようにすればいいか、教えてくれた。	わかりやすく話してくれた	声が大きく聞こえやすかった	大きな声で言ってくれた

2 訓練評価集計結果

7月10日実施 訓練評価集計結果

		口頭指導前	口頭指導中	救命講習後
電話のスピーカーへの切り替えはできたか	5年生男		○	
	5年生女		○	
反応の確認は適切か	5年生男		△	
	5年生女		△	
呼吸の確認は適切か	5年生男		△	
	5年生女		△	
胸骨圧迫	位置は適切か	5年生男	△	○
		5年生女	△	△
	角度は適切か	5年生男	△	△
		5年生女	△	×
	肘はまっすぐか	5年生男	○	○
		5年生女	○	○
	深さは適切か	5年生男	△	△
		5年生女	×	△
	リズムは適切か	5年生男	×	○
		5年生女	×	○
	リコイルは適切か	5年生男	△	△
		5年生女	△	○
A E D 取扱い	電源を入れたか	5年生男		○
		5年生女		○
	胸の確認をしたか	5年生男		×
		5年生女		×
	パッドの貼る位置は適切か	5年生男		△
		5年生女		○
	パッドの貼り方は適切か	5年生男		○
		5年生女		△
	解析中は離れていたか	5年生男		○
		5年生女		×
	電気ショックの際は離れていたか	5年生男		○
		5年生女		○
平均圧迫テンポ (回/分)	5年生男	78	94	117
	5年生女	42	95	121
適切な圧迫テンポの割合 (%)	5年生男	0	32	74
	5年生女	0	42	41
十分なリコイルの割合 (%)	5年生男	50	70	29
	5年生女	41	17	100
十分な深さの割合 (%)	5年生男	0	9	0
	5年生女	0	0	0
平均圧迫深さ (mm)	5年生男	43	40	36
	5年生女	31	23	34

その他気付いた点	・パッドを貼る前にコネクターを先に入れてしまった ・ショック後、胸骨圧迫再開の前にパッドを剥がしてしまった
----------	--

12月10日実施 訓練評価集計結果

			口頭指導前	口頭指導中	救命講習後
電話のスピーカーへの切り替えはできたか		5 年生男		○	
		5 年生女		○	
反応の確認は適切か		5 年生男		△	
		5 年生女		○	
呼吸の確認は適切か		5 年生男		△	
		5 年生女		○	
胸骨圧迫	位置は適切か	5 年生男	○	×	△
		5 年生女	○	○	○
	角度は適切か	5 年生男	△	△	○
		5 年生女	△	△	△
	肘はまっすぐか	5 年生男	○	○	○
		5 年生女	○	○	○
	深さは適切か	5 年生男	△	×	△
		5 年生女	△	△	△
	リズムは適切か	5 年生男	△	△	△
		5 年生女	○	○	○
	リコイルは適切か	5 年生男	○	△	○
		5 年生女	○	○	○
A E D 取扱い	電源を入れたか	5 年生男		○	
		5 年生女		○	
	胸の確認をしたか	5 年生男		×	
		5 年生女		×	
	パッドの貼る位置は適切か	5 年生男		△	
		5 年生女		○	
	パッドの貼り方は適切か	5 年生男		○	
		5 年生女		○	
	解析中は離れていたか	5 年生男		○	
		5 年生女		○	
	電気ショックの際は離れていたか	5 年生男		○	
		5 年生女		○	
平均圧迫テンポ （ 回／分）		5 年生男	94	95	133
		5 年生女	105	121	123
適切な圧迫テンポの割合 （ %）		5 年生男	14	47	0
		5 年生女	91	44	35
十分なりコイルの割合 （ %）		5 年生男	100	7	95
		5 年生女	91	65	98
十分な深さの割合 （ %）		5 年生男	16	0	0
		5 年生女	0	0	0
平均圧迫深さ （ mm）		5 年生男	44	28	32
		5 年生女	35	34	40

その他気付いた点	胸骨圧迫の位置がずれると圧迫し難く、深さの測定も反映され難い。 コネクタを先に差し込んでしまいパッド装着前に解析
----------	--